

## 冬道の事故防止 管理者の確かな点呼で事故防止

- 冬道走行は、『減速』と『十分な車間距離』の併用
- 視界不良時は、『乗用車は自分よりも見えていない』と考え、スピード調整を。

【だいじょうぶだろう運転から、かもしれない運転に切り替えましょう】

# 急増中…もし「大型トラックのタイヤ」が 猛スピードで飛んできたら

◇タイヤ・ホイール・ハブボルトの点検を確実に行いましょう◇

2019/1/12(土) 8:00

トラックからタイヤが脱落すると、予測不可能な動きで転がり、周囲を襲う巨大な凶器と化す。実際、「明日は我が身」と思わせるような事故が多発しているのだ。いつ巻き込まれても、おかしくはない。

## 芽室 農機に挟まれ男性死亡

2019/01/13 23:45

13日午前10時5分ごろ、芽室町祥栄北8の肉牛農場の敷地内で、同農場勤務の男性(61)が、ビートの搾りかすをビニールにくるむ機械と、その機械をけん引するトラクターの間に挟まれているのを同僚が見つかり、119番した。男性は病院に搬送されたが、約1時間半後に死亡が確認された。帯広署によると、男性はビートの搾りかすを飼料にするため、1人で作業していた。

## 釧路 タクシーに衝突し逃走、ひき逃げ事件

◇もしも、もしも、もしも、…のときは…まず、救護◇

2019/01/13 23:39

13日午前2時20分ごろ、釧路市末広町6の国道で、乗用車が乗客2人を乗せたタクシーの右側面に衝突。タクシーを運転していた男性(72)が鎖骨を折るなどの重傷を負い、乗客の50代男性が捻挫、60代女性が打撲の軽傷を負った。乗用車の運転手は現場に車を残して立ち去っており、釧路署はひき逃げ事件とみて調べている。

## 視界遮る、「雪の壁」に細心注意 事故誘発 高さ約1.5メートルの雪壁の間から国道に出ようとした際

右側から来た車とぶつかり、死亡

◇『雪山で見えない』脇道から出る時は、身を乗り出して確認しましょう◇

2019年01月12日 09:18

山形県内で今年初となる死亡事故が8日、山形県内で発生した。現場の道路脇には除雪で積まれた高さ1メートル以上の雪の壁があり、見通しの悪さが要因の一つとなった。凍結路面でのスリップを含め、冬道では細心の注意を払ってハンドルを握ることが必要だ。

死亡事故は8日午後4時すぎに発生。女性が除雪後に積み上げられてできた高さ約1.5メートルの雪壁の間から国道に出ようとした際、右側から来た車とぶつかり、死亡した。雪壁があると、事故の当事者双方とも相手の動きが見えにくい状態だったことが分かる。

## あおり運転の末…

刑務官の男逮捕

口論となった相手に車を急発進させケガさせた疑い

2019/1/13(日) 6:40

12日午後5時15分ごろ、愛知県であおり運転の末、口論となった相手の男性(38)に、車を急発進させてケガをさせたとして刑務官(31)が逮捕されました。男は現場から逃走しましたが、その直後に別の乗用車と衝突したため、駆けつけた警察に身柄を確保され、逮捕されました。男はおおよそ600メートルにわたって男性の車の後ろで蛇行運転をしたり、ハイビームをつけたりするなど、あおり運転をしたうえ、センターラインを越えて男性の車を追い抜いて停車したということです。その後、2人は路上で口論となりましたが、男が車に乗り込んで去ろうとするのを男性が止めようとしたところ、男はドアを開けたまま車を急発進させ、男性を転倒させました。調べに対し、男は容疑を認めているということです。